

特別委員会 部活動改革委員会 令和4年度事業報告

委員長 滝澤 圭介 (所属) 北信地区野球協会

1 令和4年度の活動方針

スポーツ庁の方針に基づき、令和5年度から段階的に地域(学校外)へ移行される中学校の休日部活動を、環境整備の視点から研究するとともに、丁寧な情報収集と迅速な情報発信に努め、各地域で主体的に始まった取組を側面的に支援する。

2 令和4年度活動目標

「持続可能なスポーツ活動環境の研究と情報発信」  
～野球に出会った全ての子どもたちが、野球を通じて Well-Being を感じられる環境づくり～

3 令和4年度実施事業

- (1) 令和4年度総会にて、各地域(北信地区)で始まった中学校部活動の地域(学校外)への移行に関する先進的な事例を報告する。
- (2) 国、県及び市町村から発出される各種情報を適時、各地域に情報発信する。
- (3) 各地域※で、部活動改革の推進に関わる検討会議を1回以上実施する。  
※各地域…「千曲」、「南長野」、「長野市」、「須高」、「中高」、「飯水」 6地域

4 活動目標に対する成果と課題

<p><b>成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○更埴地区           <ul style="list-style-type: none"> <li>・坂城町教育委員会、千曲市教育委員会が中心に各中学校と連携し、全ての活動を包括する形の「千曲坂城クラブ」の設立を目指して検討が進んでいる。</li> </ul> </li> <li>○南長野地区、長野市地区           <ul style="list-style-type: none"> <li>・北信地区野球協会(中学校の野球部顧問、外部コーチ等)が中心となり、行政と連携し、野球部の地域移行の検討が始まった。</li> <li>・長野市スポーツ課と長野市教育委員会等が役割分担する中で、全市的に平日も含めた地域移行の方向性を検討している。</li> </ul> </li> <li>○須高地区、中高地区           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や行政から地域移行について周知し始めた。現時点で移行の動きはない。</li> </ul> </li> <li>○飯水地区           <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政と体育協会が連携し、バレーボールと卓球を先行して地域移行の検討を始める。軟式野球の地域移行の検討は現時点で未着手。</li> </ul> </li> <li>○国や中体連の動向等を中学軟式野球関係者等に発信し、地域移行の推進に向けた機運づくりに努めた。</li> </ul>	<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国や県からの方針や手段、支援策等が明確に定まらない中で始まった「部活動の地域移行」のため、現時点では、市町村や中学校、競技団体等によって方向性や取組状況が異なる。</li> <li>●北信地区内においても小中学生の野球競技人口が減少傾向の中、市町村毎に検討を進めることの難しさがある。</li> <li>●学校主体で行われてきた部活動を、学校が関わらない地域クラブへ転換を図るためには課題が多い。(例)地域クラブの整備と基盤強化支援、指導者確保と資格取得、活動場所への移動手段等。→部活動の地域移行を令和の新しいスポーツ活動への転機と捉えた視点が重要。</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>□北信地区野球協会は野球を通じた青少年の健全育成を目的に掲げていることや、事業重点に中学校の部活動改革を挙げていることから、北信協会が積極的に行政や各連盟等と連携し、普及振興の視点から U-15 以下世代の子どもたちの多様なスポーツ活動環境の確保に努める。</p>
--	---

5 参考資料

- ・令和5年度以降の中体連大会への参加資格等について(長野県中体連ホームページ)
- ・「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について(スポーツ庁ホームページ)



長野県中体連 HP



スポーツ庁 HP